

福祉・ボランティア出前講座内容一覧及び注意事項

講座名	講座内容	目的	対象	注意事項	貸出用具
福祉講話	①福祉（ノーマライゼーション・バリアフリー等）やボランティアについての基本的な話 ②ボランティア活動の始め、活動を始める前の注意事項など	・福祉やボランティアの考え方、必要性を理解する。 ・自分とボランティア活動について考えるきっかけとする。	小学生 中学生 高校生 保護者 一般区民	・事前に電話やFAXで具体的な項目内容の打合せをします。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	
聴覚障がい者理解	①聴覚障がいの方のお話 ②聴覚障がい者とコミュニケーションをとってみよう！	・聴覚の障がいについて理解する。 ・コミュニケーションの大切さを体験で理解する。		・講師は、中途失聴者・難聴者のボランティアグループの方など。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	
手話体験 聴覚障がい者理解	①聴覚障がいの方のお話 ②簡単な手話体験 ③聴覚障がいの方への質問	・聴覚の障がいについて理解する。 ・コミュニケーションの大切さを手話などの体験で理解する。		・講師は、聴覚障がいのボランティアグループや手話を学んでいるボランティアグループの方など。 ・手話体験の内容は、学校の希望に合わせてしますので、申込の段階でセンターに相談してください。 ・その他、筆談やジェスチャーでのコミュニケーションを試す。またはテレビを消音にして観せるなどのメニューもあります。 ※②については、手話に関する事前学習は行わないようお願いいたします。	
発達障がい者理解	①発達障がいの方のお話 ②誰にでもある得意・不得意について ③“ふつう”ってなんだろう？”当たり前”ってなんだろう？	・発達障がいについて知ってもらおう。 ・自分の強みと弱みを認識し、強みを活かす方向へ促す。 ・普通やあたり前にとらわれずお互いの違いを尊重し、心のバリアフリーを進める機会とする。		・講師は、発達障がいの子育て経験がある団体の方です。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	
アイマスク ガイドヘルプ体験	①視覚障がいの方のお話 ②視覚の障がいについて ③ガイドヘルプについて ④アイマスクをして視覚障がい者の体験 ⑤ガイドヘルプ体験	・視覚の障がいについて理解する。 ・体験を通して、視覚障がいの方に対する接し方を学ぶ。	同上 (小学生は3年生以上が望ましい)	・講師は、仕事をしているため日程調整が必要です。 ・ガイドヘルプ体験では、アイマスクをつけた方をガイドしたり、椅子に座らせる体験をします。 ・アイマスク体験では、独歩や椅子に座るなどの体験をします。 ・体験時間の関係で場所や方法を調整する必要があります。 ・ガイドヘルプ体験だけの実施も可能です。 ・アイマスクは直接肌に触れるため、ハンカチかティッシュペーパーを重ねて使用します。	・白杖
車いす体験	①身体障がいの方のお話 ②車いすの使用方法の説明 ③車いすを介助する体験 ④車いすに乗り自走する体験	・身体障がいについて理解する。 ・体験を通して、身体障がいの方に対する接し方を学ぶ。 ・身の回りのバリアについて考える。		・講師は、車いす使用者など。 ・講師が車いす使用者の場合は、車いすで入室できる会場をお願いします。やむを得ず階段などの昇降が避けられない場合は、講師の介助を先生方にさせていただきます。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	・車いす 最大6台
高齢者疑似体験	①高齢者の特徴について ②用具の装着の説明 ③高齢者疑似セットをつけて高齢者体験（人数・場所により内容調整）	・加齢による身体的特徴を理解する。 ・体験を通して、高齢者を理解し、接し方を学ぶ。	小学生 中学生	・講師は、仕事をしているため日程調整が必要です。 ・用具の着脱にかなり時間がかかりますので、一部の児童・生徒に体験させたり、一部用具で多くの児童・生徒に体験させるなどの工夫が必要です。 ・体験して歩くコース（階段など障害物を設定）が必要です。 ※1セット×3名が目安です。	・高齢者疑似体験 セット 最大10セット
知的障がいってどんなこと？見て・聞いて・体験して（正しく知ろう！そして友だちになろう！）	①知的障がい・自閉症の特徴について ②知的障がい・自閉症の疑似体験	・知的障がいについて理解する。 ・講座を通して、知的障がいや自閉症の方に対する接し方を学ぶ。	小学生 中学生 高校生 保護者 一般区民	・講師はダウン症の子育て経験のある方です。 ・会場は、教室・図書室などをお願いします。	・折り紙 ・軍手

福祉・ボランティア出前講座内容一覧及び注意事項

講座名	講座内容	目的	対象	注意事項	貸出用具
点字(点訳)体験	①点字について ②点字を書く体験 ③点字を読む体験	・視覚の障がいや点字について理解する。 ・体験を通して点字のしくみを理解し、身近な所にある点字に関心をもつ。	(小学生は4年生以上が望ましい)	・講師は、点訳ボランティアグループの方。団体数が少ないため、日程調整が必要です。 ・複数人で教えますが、児童・生徒一人ひとりの手元を見ながらなので、時間がかかります。 ・各自に点字板が必要です。貸出し数について事前に相談してください。	・点字板 最大70セット ・点字用紙
認知症の理解	①高齢者の身体的・精神的変化 ②認知症とは ③認知症の方への接し方	・認知症を理解する。 ・認知症の方への接し方を学ぶ。	同上 (小学生は5年生以上が望ましい)	・講師は、高齢者介護にたずさわっている方。仕事をしているため日程調整が必要です。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	
シナプソロジー 認知症について	①認知症について ②寸劇やクイズなど ③シナプソロジーの実践	・認知症を理解する。 ・認知症予防についてを学ぶ。 ・認知症の方への接し方を学ぶ。	同上 (小学生は3年生以上が望ましい)	・講師は、仕事をしているため日程調整が必要です。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。 ・シナプソロジーでグループを作る時にはご協力お願いいたします。	
国際協力、国際理解について	①支援した外国の歴史について ②外国の子どもたちの様子 ③外国の生活、課題について	・外国の生活、歴史について学ぶ。 ・外国の子どもの状況の理解。 ・現在の課題、これからの支援について学ぶ。	同上 (中学生以上が望ましい)	・講師は、仕事をしているため日程調整が必要です。 ・講師がパワーポイントを使用する場合は、パソコンやプロジェクター、スクリーンなどを学校でご準備ください。	
盲ろう者理解 みえない、きこえないって？	①盲ろう者のお話 ②盲ろう者とは？ コミュニケーション方法・介助の仕方 ③盲ろう者体験	・盲ろう者を理解する。 ・盲ろう者への介助の基本を学ぶ。 ・人はそれぞれ違っていても、手を繋ぎ共に助け合い楽しく生きていくことができるを知る。	同上 (小学生は4年生以上が望ましい)	・動きやすい服装での参加をお願いいたします。 ・事前にグループづくりをお願いいたします。(人数に応じて、グループ数をお伝えいたします。) ・事前に人数が分かれば、東京盲ろう者友の会からチラシやパンフレットを用意することも可能です。 ・事前に映像(「知ってください。盲ろう者について」15分ほど)の視聴をお願いいたします。	・白杖 ・耳栓 (イヤーマフ)

<講座を進めるうえでご注意いただきたい点>

- 体験学習は、複数で同時進行するため、ケガなどの事故が起きないように先生からも児童・生徒に注意喚起を行うとともに、必要に応じて、講師の指示による指導の補助をしていただきます。
- 福祉教育、体験学習は、1回のみ講座では効果が薄いので、学年単位で継続性を持たせるような取り組みもご検討ください。

- (例) 4年生：車いす体験(校内)
- 5年生：4年生時の体験をもとに、街の中での体験
- 6年生：地域のバリアフリーマップ作成

※体験学習の詳細については、『教員向け 福祉×教育ハンドブック (改訂版)』をご参照ください。